
循環研／ノルド CSR 特別セミナー

2009 年版報告書作成に向けて ーマテリアリティを深めるー

- 【日 時】 2009 年 2 月 25 日（水）15：00～17：30（開場：14：40～）
- 【会 場】 フォレストタワー8F セミナールーム
（東京都中央区京橋 1-9-10 フォレストタワー8F）
地図は、こちら（<http://www.nord-ise.com/enterprise/map.html>）をご参照下さい。
- 【参加費】 6,000 円
- 【定 員】 30 名
- 【お申込締切】 2009 年 2 月 20 日（金） ※または、定員に達し次第
- 【お申込方法】 ①貴社名、お名前、ご連絡先（メールアドレス他）、参加人数を記載の上、メールもしくは FAX にて、下記宛てにお申し込みください。
【循環型社会研究会 事務局】
E-mail : junkan@nord-ise.com、 fax : 03-5524-7332

②上記の他、循環型社会研究会 Web ページからもお申込みいただけます。
URL : https://secsvr.com/nord-ise.com/junkan/seminar/Seminar_090225.html

【内 容】**① 2008 年版報告書の動向と 2009 年版作成の留意点****◇ 山口 民雄（NPO 法人循環型社会研究会 代表）**

2008 年版報告書の分析から見えた傾向とは何でしょうか。

市民の立場から 300 社近くの報告書を分析した結果を、各社の事例を紹介しながら報告します。

※当日の資料として「2008 年版報告書の動向」（約 160 ページ）、「報告書一覧」（約 300 社、各社の第 3 者意見やステークホルダーダイアログの実施状況、注目すべき点などを記載）、「3 業界におけるマテリアリティ選択プロセスとマテリアリティ項目」を配布します。

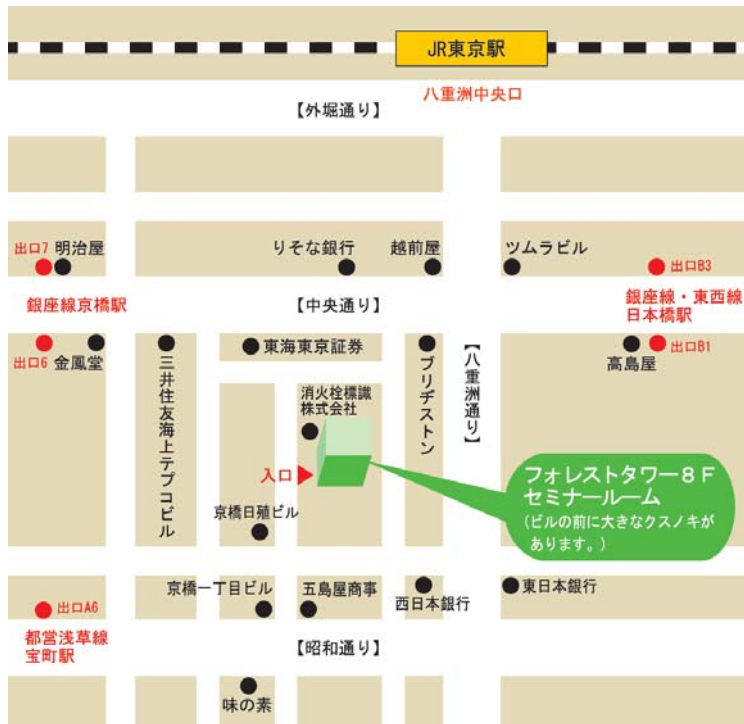
② 「マテリアリティ」を深める：企業戦略と持続可能性**◇ 後藤 大介（株式会社ノルド社会環境研究所 主任研究員）**

GRI ガイドラインが求めている「マテリアリティ」は、重要な内容を中心に報告することだけではありません。先進的な企業のケースを見ながら、マテリアルな報告内容と「企業戦略」「持続可能性」との関連について考察します。

③ 環境保全活動を伝える：生活者の 8 類型**◇ 寒田 亮（株式会社ノルド社会環境研究所 研究員）**

環境保全には、熱心な人や興味のない人など、様々な人がいます。ノルド社会環境研究所では、人々を 8 つに分類することを試み、それぞれどれくらいの割合なのか、どういう特徴があるのかを探りました。環境保全活動を伝える相手を知るための一案を紹介します。

○ 司会・進行**◇ 久米谷 弘光（株式会社ノルド社会環境研究所 代表取締役/NPO 法人循環型社会研究会 理事）**



◇お申込み・お問い合わせ先◇

NPO 法人循環型社会研究会 事務局

住所: 東京都中央区京橋 1-9-10

フォレストタワー

(株)ノルド社会環境研究所内

TEL: 03-5524-7334

E-Mail: junkan@nord-ise.com

URL: <http://www.nord-ise.com/junkan/>

■ 個人情報の取り扱いに関する注意事項

- ・当セミナーに関するご連絡以外に使用することはなく、ご本人の同意なく第三者に開示、提供することはありません。
- ・お申込みいただいた情報の変更、訂正、削除、その他個人情報の取扱いに関するお問合せは、循環型社会研究会事務局 (e-mail: junkan@nord-ise.com、tel: 03-5524-7334) までお願い致します。(連絡先記載の上)
- ・循環型社会研究会の個人情報保護方針は、事務局業務を受託している株式会社ノルド社会環境研究所の方針に準じます。
株式会社ノルド社会環境研究所の個人情報保護方針について→<http://www.nord-ise.com/inquiry/policy.html>
- ・お名前とご連絡先のご記入がない場合や正確でない場合には、お申込受付を完了できないことがありますので、正確にご記入ください。

FAX用 2月25日セミナー お申し込み書

FAX : 03-5524-7332

NPO 法人循環型社会研究会 事務局 宛

1. 貴社名 _____
2. 貴部署名 _____
3. 氏名 _____
4. TEL _____
5. E-mail _____
6. 参加人数 _____ 名